発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
1	はやお議員 （自民党）	１.九段中等教育学校(後期課程)開設後の運営実態(伝統継承・経営状況)について ２.九段中等教育学校の「入学等のあり方検討会」に伴う現状と課題、「子育て・教育ビジョン」との整合性について ３.「子育て・教育ビジョン」を踏まえた九段中等教育学校経営への民間ノウハウ導入等の検討状況について	これまで数回にわたり、本区の中等教育の将来像や九段中等教育学校の経営・アプローチについて質疑を行ってきた。開設から年月が経過し、「千代田区子育て・教育ビジョン」の運用が進む中、九段中等教育学校の伝統継承や学校経営のあり方について、改めて確認と提案を行う。 ①九段中等教育学校の後期課程(高校)設置の前提となった旧都立九段高校の統合において、至大荘(遠泳行事)や文武両道の精神などの伝統はどのように引き継がれてきたか。 ②開設当初の評価を踏まえ、現状の後期課程における年間経費の最新状況をどのように把握しているか。 ①九段中等教育学校の「入学等のあり方検討会」等において議論された男女別定員(枠)撤廃等の変更に伴う現在の生徒構成の実態と課題認識について伺う。 ②また、これが現在の「子育て・教育ビジョン」が目指す理念や施策方針とどのように整合しているか。 ①平成 30 年一般質問での「国家戦略特区法を活用した公設民営学校などの学校経営の新たなアプローチ」に対する区の答弁(教員任命権や独自の工夫による民間ノウハウ導入の可能性。今後の継続検討)について問う。 ②その後の「子育て・教育ビジョン」のもとで、多様な人材登用や民間の知見・ノウハウを活用した学校経営の検討状況、進捗とその整合性はどうなっているか。	区長 教育長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
2	富山議員 （自　民）	・安心安全な秋葉原	治安の維持改善に向けた現在の取り組みと展望、 新たな課題の認識について伺う。 秋葉原の新たなルール、都市再生整備計画について	区長 教育長 関係理事者
		・千代田区立神田錦町福祉施設	令和９年度に開設予定の神田錦町福祉施設 高齢者施設、障害者施設に加え、カフェやギャラリーなど多様な機能が設置されるが、その内容や入居について区民から心配の声が上がっている件について伺う。	
		・神田警察通り道路整備の進捗	神田警察通りⅡ、Ⅲ期工事の進捗、施設へのアクセス、周辺道路のバリアフリー整備状況について伺う。	
		・医療ＤＸ	国が推進する医療 ＤＸ の全体像や、ＰＭＨ（Public Medical Hub）接続による保健医療事務のデジタル化、そして標準型電子カルテの最新動向について、 区内医療機関が、日々の業務で直面する課題解決や、今後の医療体制のデジタル化に対応するための支援策を伺う。	
3	永田議員 （自　民）	九段地域のまちづくりについて	都市計画マスタープランにおいて九段は飯田橋・富士見地域の中に位置づけられている。九段一丁目地区再開発を契機に九段地域に特化した具体的なまちづくり方針を示すべきではないか。	区長 教育長 関係理事者
		沖縄の平和学習について	辺野古での抗議船転覆事故で高校生が犠牲になった事故から半年が経過した。学校側が政治的な抗議活動であると理解した上で関わっていた事が分かり、教育上の中立性確保が問題になっている。本区での平和使節団においても、辺野古の事故を事前学習の中で取り入れて、自らの問題として考える機会をつくるべきだ。 平和学習を「悲惨な戦争をくりかえすな」で終わらせずに、戦争と平和について具体的な課題を与え、多面的に探求する機会にしてはどうか。	

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
４	小枝議員 （声）	１、障害者差別解消法と合理的配慮について	○千代田区第四次基本構想に示された目標「すべての子どもたちの個性や意思が尊重され、大切に育まれながらすくすくと成長しています」という方向について ○教育現場での合理的配慮について。 ○「子どもの最善の利益」が守られる仕組みについて。 ○千代田区役所来訪者への対応 　災害時のアナウンスが当事者に届いているか。 ○地下鉄出入口の封鎖に関する告知と協議等 　ある日突然にと住民や在勤者が感じる状況の回避策 ○障害者に関する団体支援の充実について	区　　長 教　育　長 関係理事者
		２、官製談合事件への対応	○令和６年３月３１日および７月１７日に野々上尚弁護士から提出された区への報告書の著作権は著者にあるとのことで止まっている。野々上弁護士からの回答は。 ○当該報告書に書かれていた「留保」の記述を区は最終報告書から削除した。これについて野々上弁護士は了承しているのか。	
		３、ボランティア団体への活動支援	○ボランティア団体に対する基本的考え方について。 ○団体の自主的勉強会講師代を支出してはならないという根拠は何か、区民にわかるように示してください。	
		４、　災害対策従事職員の負担軽減および「命を守る」さまざまな仕組みの整備について	左記のとおり	

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
5	桜井議員 （自　民）	○災害に強い千代田区を作る為に昨今の地震、豪雨災害に学ぶ対策について	○水とトイレは災害時に避難生活を送る上で、とても大切なものとして取り上げられている。水分を控えたりトイレに行かないことで体調を崩されるお年寄りも多い。 非常時の為の防災井戸を計画的に配置されてはどうか。 ○マンホールトイレは防災井戸とセットで設置すれば非常時により衛生的で使いやすいものになる。一体的な設置が必要と思うがどうか。 ○飲料可能な井戸について、都は災害時の使用を求めておらずトイレの流し水、洗濯、お風呂や消火活動などに用いる生活用水としての設置を促しているが過去には災害時に多くの命を救った井戸もあった。 ○豪雨災害は本区にとっても他人事でない身近なものになってきている。災害備蓄品の保管は場所の制約もあり地下施設に保管せざるを得ないケースが多く見受けられるが、分散備蓄なども含め今一度、見直しを検討されてはどうか。 ○私たちの住み働く場所にはどのようなリスクがあるのか。 そのリスクを正しく伝え、有事に備えて何をすべきかを日頃から確認し、災害の危険性を自分のことと捉え、早目の準備や避難につなげていくことが大切。 ○本区も区民を対象に防災用品の配布をされてはどうか。 この配布は単に品物を配ることが目的ではなく、それぞれの家庭に合った防災用品とは何か、なぜ必要で、どのように使うのか、今後どのような災害リスクがあると考えるか等を家族で話し合うことに意義がある。	区長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
6	牛尾議員 （共産党）	（１）長引く物価高からくらしを支える支援について （２）高齢者、障害者の移動する権利を保障する施策について （３）安心して住み続けられる住まいへの施策について	私たちが実施した区政アンケートではくらし向きが「苦しくなった」と回答した方の９割が「物価高騰が原因」としている。 物価高からくらしを支えるために区独自の給付、水光熱費への補助、社会保険料の軽減などの支援策をもとめる。 シルバーパス購入費への補助、駅のバリアフリー、の他、高齢者や障害者への移動への支援策を求める。 住み続けられる権利を保障する支援策を提案。	区長 教育長 関係理事者
7	田中議員 （国　民）	皇居周辺のランニング（皇居ラン）のルール徹底と安全対策について ウォーカブルなまちづくりに向けた歩道等への『ひと休みスポット』の設置について	皇居周辺において、タイムや記録を優先した危険な追い越しや高速走行、グループによる歩道の占有、逆走などのランナーのマナー違反行為が、歩行者との接触事故・トラブルを引き起こすなどかねてより問題となっている 注意喚起の偏り、逆回りからの注意喚起不足、外国人ランナーの増加に対し二カ国語での注意喚起等が不足している現状 歩行者の安全を確保するため、防犯カメラの設置や注意喚起の看板の有効な掲示方法や放送の導入など、マナー遵守に向けた実効性のあるルールの周知と早急な改善を求め見解を問う 高齢者の方々などが散歩中や移動中に気軽に腰掛けられるベンチやイス等の『ひと休みスポット』の設置 区が推進するウォーカブルなまちづくりの取り組みの一環として、公開空地や区営施設周辺などのスペースを積極的に活用した整備について区の見解と今後の展望について問う	区長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
８	ふかみ議員 （次世代）	続く物価上昇に対応し、商いと文化を次世代につなぐまちづくりについて 物価上昇が続く中、地域の商いが生み出す価値を高め、区民の所得と暮らしのゆとりにつなげることが求められる。 歴史的に「起業の街」であった千代田区の商いと文化の担い手が、起業家と共に地域に住み続け、働き続けられるまちづくりについて、区の見解を問う。	(1)老舗・中小企業の稼ぐ力を高めるDX・AI活用支援 老舗・中小企業の業務効率化と付加価値の向上に向け、ＤＸ・ＡＩ活用を支える起業家・個人事業主との協業を促し、導入から実際の活用まで伴走する支援の仕組みについて、区の見解を問う。 (2)文化的な無形資産の価値体系の整備と、継承・振興を担う起業家への支援 老舗の技や地域文化などの無形資産を次世代に継承するには、その歴史や背景を踏まえて価値の評価基準を整え、広く伝える仕組みが重要である。専門家・業界と連携して、文化的価値の評価基準を整え、記録・普及を体系的に進める考えを問う。 あわせて、その継承・振興に取り組む起業家や事業主への支援について、区の見解を問う。 (3)商いと文化の担い手のアフォーダブルな環境整備 地価や賃料の高騰により、区に愛着を持ち、地域に根差した商いを通じて、まちのにぎわいや特色ある文化の継承・振興に貢献する中小企業やスタートアップ事業者が、活動拠点を確保しにくい状況にある。こうした地域特性を踏まえ、区内の不動産事業者やビルオーナー等と連携し、住まいやオフィスなどアフォーダブルな環境の整備を通じて、これらの事業者が継続的に活動できるよう支援すべきと考えるが、区の見解を問う。 (4)「次世代につなぐまちづくり」に関する成果指標 各施策の効果測定に加え、次世代につなぐまちづくりの成果を測る指標として、区民の家計のゆとりと継続居住の状況を捉える、成果測定について問う。具体的には、区が把握する所得と特別区民税額について、総額や平均だけでなく、中央値や所得階層別の推移を可視化し、所得の伸びを物価上昇と比較するとともに、区民の継続居住年数等を把握する考えについて、区の見解を問う。	区長 関係理事者

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
9	米田議員 （公　明）	子育て支援をさらに前へ「バースデーサポート事業の更なる充実」について	千代田区の充実した子育て施策の一環である「バースデーサポート事業」について、本年度は昨年度と比べ、商品・サービスの選択肢や利便性等に改善の余地が見受けられる。「第 3 期千代田区子ども・子育て支援事業計画」が掲げる「更なる子育て支援の充実」の観点から、利用者ニーズを踏まえた今後の改善・充実について区の見解を問う。	区長 教育長 関係理事者
		庁内システムのリプレースについて	生成 AI の普及やデータセンター需要の拡大に伴う、半導体・メモリ不足、機器価格の高騰や納期長期化が、今年度から 2 か年で予定する庁内システム更新に与える影響について問う。 また、市場価格や仕様等を十分に精査し適正な価格での調達と安定的なシステム更新をどのように進めるのか、区の見解を問う。	
		骨粗しょう症について	10 月 20 日の「世界骨粗鬆症デー」を契機として、骨粗鬆症の早期発見につながる骨密度検査の重要性を広く周知し、受診率向上に向けた普及啓発を一層推進すべきと考えるが、区の見解を伺う。 ・骨粗しょう症検診について ・DEXA 法など高精度な測定について	

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
10	のざわ議員 （維　新）	１.千代田区の障害者雇用の推進と実態把握について	(1)千代田区の実雇用率の状況 ①令和７年度及び令和８年度の実雇用率関係 (２)千代田区の障害者雇用に対する姿勢関係 ①千代田区内に本社又は事業所を置く、障害者雇用義務の対象となる企業関係 ②千代田区内企業への法定雇用率が 2.7%へ引き上げ等の、対象企業従業員拡大の周知関係 ③障害者本人への聞き取りを含めた実態調査関係 ④千代田区が取引を行う企業の法定雇用率の達成状況関係 ⑤千代田区の取引先が外部の障害者雇用代行事業者を利用している場合の、区としての確認項目や指針作成関係 ⑥法定雇用率を満たしていない企業等々関係 ⑦千代田区内企業の経営者、人事責任者及び管理職を対象とした研修関係 ⑧障害者本人の諸問題を勤務先を恐れず相談できる区独自の窓口関係 ⑨千代田区自身が法定雇用率を達成するだけでなく、区民と議会による検証関係	区　　長 教　育　長 関係理事者
		２.「皇居ランナー」関係・千代田区マラソン大会の創設	(1)環境整備の推進状況関係 (2)「皇居ランのマナー９ヵ条」の改定関係 (3)条例制定の必要性 (4)区内スポーツ用品店等との連携強化 (5)千代田区マラソン大会の創設	
		~~３.大規模災害や事故に備えたご遺体安置等~~	~~(1)ご遺体保管用冷蔵設備と民間事業者との協定~~ ~~①区の冷蔵設備確保と民間事業者との協定関係~~ ~~②千代田区の東京都、近隣区、さらには首都圏自治体との広域的な相互応援体制構築関係~~ ~~(２)ご遺体取扱いの周辺業務の民間活用~~ ~~①周辺業務を区と民間事業者が担う体制を構築~~ ~~②民間事業者への助成制度を創設~~ ~~③東京都及び警察との具体的な協議の開始関係~~	
		４.市ヶ谷駅への一時利用型駐車場の整備等	(1)市ヶ谷駅への一時利用型駐車場の整備と、年間登録制しかない地域への一時利用枠の拡充	

発言通告書（総括表）

令和８年第３回定例会　**一般質問**

No.	発　言　者	発　言　事　項	発　言　要　旨	答弁を求める者
11	小野議員 （次世代）	１，まちづくりとコミュニティ形成の支援について ２，区外施設の暑さ対策 ３，高齢者のお出かけ支援策 ４，子どもの成長に応じた支援	(1)　アフォーダブル住宅施策の方向性と入居要件について。地域コミュニティへの積極的な参画など本区の施策に貢献する要件を盛り込む検討が必要と考えるが区の見解を問う。 (2)　地域イベントの告知にSNSの活用が増えてきた。他方、コミュニティに属さない区民が地域イベントを知るきっかけになるのは掲示物との声が高い。町会掲示板はコミュニティ参画のきっかけになるため町会支援として設置費用の拡充を検討してはいかがか。 (1)　花小金井運動施設、夢の島東少年野球場の観覧席の酷暑対策についてうかがう。 (1)　フレイル対策に有効とされる外出の機会を促進する一助としてシルバーパス助成を区独自で検討してはいかがか。 (1)　学童で提供されるお弁当やおやつは保護者の実費負担だが、質や量に改善を求める声もある。成長期に必要な食に関する区の支援を問う。 (2)　はぐくみ千代田の運用に関する保護者目線の期待と不安についてうかがう。	関係理事者
12	岩田議員 （次世代）	千代田区官製談合事件に関する元区職員に対する処分について 区のアスベストに対する対応について 麹町仮住宅について	千代田区官製談合事件により複数名の逮捕者が出た。 その中で、自分の身を犠牲にして、当該事件を白日の元にさらしてくれた元区職員に対する区の処分について、公平性・妥当性等の、区の条例等の解釈を問う。 また、弁護士が区に提出した書面について著作権があるのかどうか等について問う 地下鉄半蔵門駅ホームにアスベストが落下したが、その際の区の対応は適正であったのか等を問う また、区内他の地域でもアスベストが見つかった際、どのような対応なのかを問う。 今後どうなるのか、区はどうしたいのか、永田町駅４番出口の協議はどうなったのか。	区長 関係理事者